

Tiger Eye FT1-02



製作中の装置写真(本体サイズ : 2200W × 800D × 1500H)

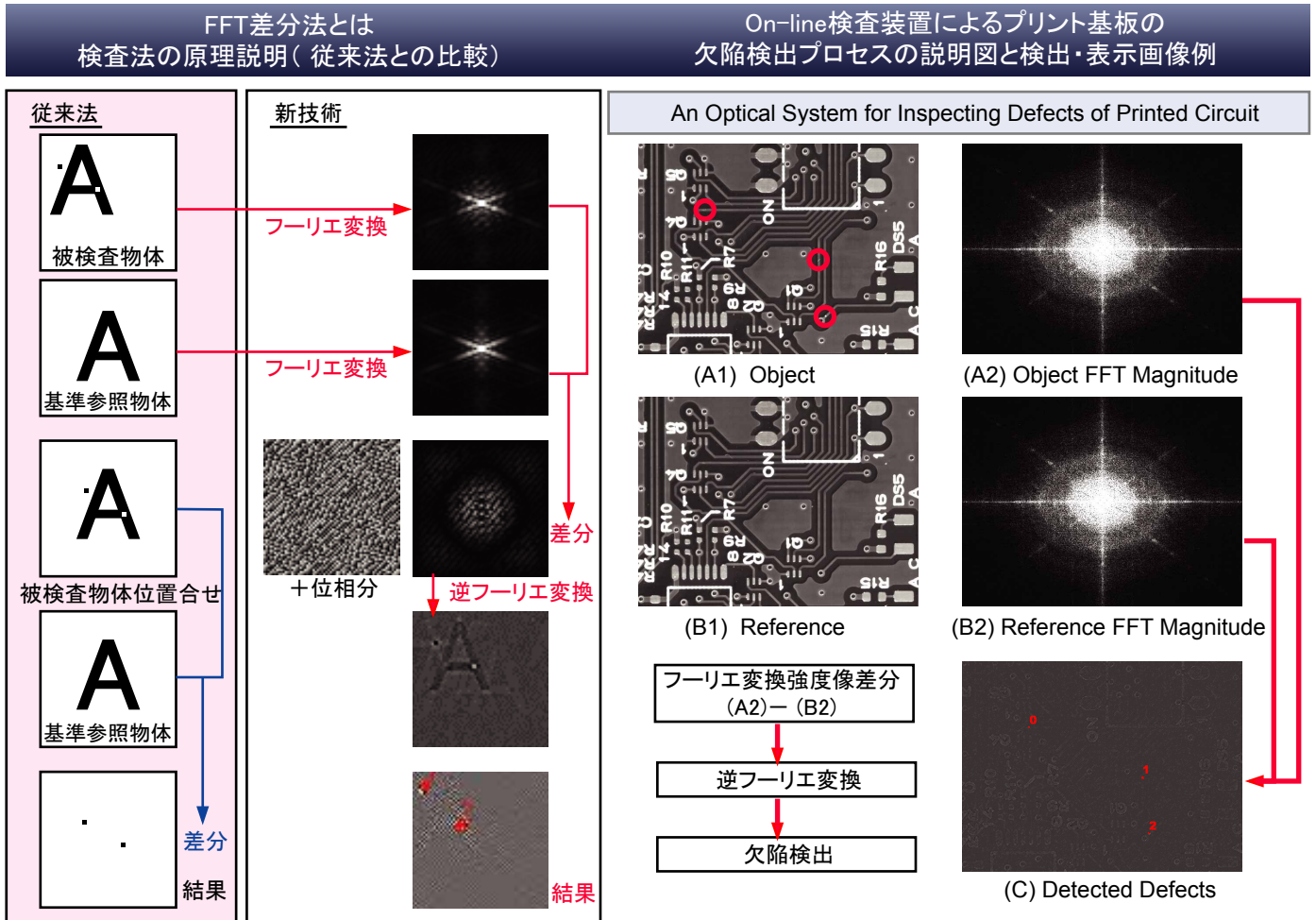
他に類を見ない独創的検査技術の開発に成功！

独創技術「画像フーリエ変換(FFT)差分法*」採用の新鋭機を開発しました

本装置の特徴

- ・独創的な画像フーリエ変換差分法技術を開発することにより、
大容量データの高速・高精細処理を実現！
- ・斬新で洗練された画像処理ソフトウェア開発により、
鋭い欠陥検出機能と、確実な過検出防止機能を実現！
- ・画像フーリエ変換技術を使用している為、
検査対象の厳密な位置決めが不要！
- ・フーリエ変換差分法を基本にした高精細検出方法なので、
基準画像は、実撮影画像から短時間で作成可能！
- ・その他の本装置の特徴
検出基板の特徴に合わせ、多色の 高輝度LED照明採用！
稼動部にサーボモータを使用し、スムーズな動きと製品サイズ変化に対応！
同じ検査データでVerify機能を内蔵した「別置き目視検査台」を複数設置可能！

プリント基板最終外観検査装置開発速報



検査機標準仕様

（受注製造が基本です。以下は、標準的な仕様例）

検査対象	リジット基板、フレキシブル基板
検査項目	キズ、欠け、短絡、断線、凹凸、変色、他
検査方法	基準基板と被検査基板のフーリエ変換画像差分法
検査能力	処理スピード：4枚／分
カメラ台数	1台（4,000×2,672 pixel）
カメラ視野	85mm×130mm max.（解像度30μmの時）
分解能	30μm／pixel
照明装置	多色高輝度LED照明（特注品）
CPU台数	1台（特注品）
判定出力	カラーモニタ表示、欠陥検出座標情報送信可能
製品搬送	バキュームテーブル（180mm×450mm）
操作性	TFTタッチパネル及びマウス使用
	自在マスク設定可能（ペイントソフトウェア使用）
	パラメーター一覧表により、閾値を簡単設定

* 関連特許：特許第4061289号「画像検査方法及び装置」

出願人：（独）科学技術振興機構（JST）

発明者：（有）高度技術研究所 工学博士 清水 勲

RIAT

Research Institute of Advanced Technology

開発元（有）高度技術研究所 〒319-2103 茨城県那珂市中里1114-5 TEL / FAX 029-219-6955 www.riat.co.jp